

特別講演 1

「心不全とは何だろう？」

—最近の心不全の概念とその治療戦略—

日本大学医学部 内科系循環器内科学分野 助教

加藤 真帆人 先生

心不全とは何だろう？現在でもうっ血性心不全の診断基準は Framingham 基準を利用しているが、この基準が提唱されてから経過した長い年月の中で、多くの優れた治療薬が使用されるようになった。Furosemide、Digitalis、そして RAAS 阻害薬と β 遮断薬である。これらの治療薬によりうっ血性心不全患者の症状および生命予後は改善した。その結果、現在では Framingham 基準を満たすことの無い、しかしながら「傷を負った心臓」を抱える患者が多数存在することになった。こういった心不全をうっ血性心不全 (Congestive Heart Failure ; CHF) に対し、慢性心不全 (Chronic Heart Failure ; CHF) と呼称することとなった。これらは同じ「CHF」だが全く違う病態である。

本講義では、慢性心不全の概念を解説し、その治療について確認する。さらに「急性増悪 (Acute Decompensation)」について、その分類、治療法を概説する。特に最近使用されるようになった選択的 V2 受容体拮抗薬トルバプタンについて、現時点での理解と今後の課題についても触れる。